



HandaCity

はんだ市議会

だより

令和6年11月1日発行

HEADLINE

- 一般質問、12人が市政を問う!
- 令和6年第7回定例会審議結果
- 議員勉強会「大規模災害時の情報伝達手段について」



半田市議会広報へ

市政を問う

一般質問



9月定例会における市政に関する一般質問は、8月27日から29日に行われ、12人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

*質問、答弁の詳細は12月1日頃から半田市立図書館・亀崎図書館等に配置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。
*その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

市政を問う

一般質問 (質問議員が執筆しています)



伊藤正興
(チャレンジはんだ)



カーブミラーの設置と管理

問 半田市の管理するカーブミラーの点検はどのように行っていますか。

カーブミラーの点検義務は法令で定められています。が、道路、パトロールの二環として市内を7地区に分けて月2回実施しています。

問 これまで半田市の管理するカーブミラーに起因する事故や不具合はありましたか。

カーブミラーの損傷は通常の道路パトロールに加え、市民からの通報によっても確認し早期対応しているため、これまでカーブミラーに起因する事故は発生していません。

小学校における公共施設の複合化に伴う防犯対策

問 防犯対策についてどのような考えをされていますか。

不特定多数の方が学校敷地に入入りすることで、不審者等の侵入リスクも高まる可能性があります。今までは高い防犯意識をもって対策を講じていくことが必要と考えています。

問 小学校における公共施設の複合化を行う場合、児童の安全確保が重要と考ええますが見解を伺います。

児童の安全を確保することは最も重要な課題の一つと考えています。これから地域の皆さんと話し合い、誰もが安全・安心に過ごすことのできる学校づくりを目指していきます。



有留麻由
(無所属)



市営住宅の入居資格と半田市営住宅長寿命化計画の見直し

問 令和5年度から令和6年8月までの住宅の募集戸数と申込件数はどれだけの数ですか。

一般世帯用は33戸の募集に対し30件の申込み、単身世帯用は7戸の募集に対し21件の申込みでした。

問 一般世帯用の申込みは定員を割り、単身世帯用の倍率は3倍です。入居資格を見直す必要はないですか。

課題があると考えています。入居相談に来る方の話を聞いて、必要に応じて変えていくと考えています。

問 半田市営住宅長寿命化計画の目標管理戸数を見直す考えはないですか。

現時点では目標管理戸数の400戸を見直す考えはありません。

問 新病院までの直行タクシーの利用時間が9時から16時までの理由は何ですか。

タクシー事業者が適切にサービスを提供できる時間帯を利用時間とします。

問 夜間の子どもの発熱時などに、24時間体制の直行タクシーが必要ではないですか。

24時間体制の運行は考えていません。

問 直行タクシー以外で交通アクセスの予定はありますか。

名鉄知多半田駅と新病院をつなぐ定時路線バスを導入を予定しています。



支給した額の4分の3は国が、残りの4分の1は市が負担することとなっています。半田市では、令和5年度、外国籍市民に対し、約8,800万円を支出していますが、半田市の実質的な負担額は、その4分の1となる約2,200万円です。

問 外国籍市民の生活保護における財政負担はどの程度ですか。

半田市における生活保護の受給世帯571世帯の内、外国籍市民の世帯は29世帯あり外国籍市民4,850人中、46人です。

問 生活保護受給世帯における外国籍市民の世帯数と人数を教えてください。

生活保護事業

國弘秀之
(チャレンジほんだ)



生活保護は日本国民を対象とした法律であり、外国籍市民はその対象外となっていますが、外国籍市民の内一定の在留資格を有する世帯から申請があった場合は国の通知等に基づき生活保護法に準じた生活保護を行う措置として実施することとなっています。

問 国の通知に基づき外国籍市民にも生活保護を適用している訳を教えてください。

65歳未満で病気などがなく就労可能な受給者に対してはケースワーカーがハローワークと連携した就労支援を行っています。

問 生活保護を受給している外国籍市民に対する就労支援はどのように行われていますか。

問 雁宿公園の北エリアについて閑散とした印象がありますが、見解について教えてください。

子どもや大人が遊びやす

都市公園の中でも規模が大きく、民間事業者による土地利用の余地があり、民間事業者の参画意欲の高い七本木池公園を最初の候補として選定しました。その他の公園については、今回の成果を検証しながら、実施できる公園を見極めていきます。今後ParkPFI手法を有効に活用していくことで、魅力ある公園づくりに努めていきます。

問 魅力ある公園のためのParkPFIの活用について教えてください。

半田市における都市公園のあり方

鈴木英華
(創造みらい半田)



ポーツを楽しむ活動的な印象を与える南エリアに対して、北エリアは豊かな自然を感じながら、散策を楽しみ、和み、憩うことに重点を置いた閑静なエリアであることが魅力であると考えています。「静」と「動」二つの魅力を合わせ持つ公園として、もっと効果的に情報発信し、価値を再認識してもらうことで利用促進に努めていきます。

問 北エリア小動物園の未利用スペースをどのように有効活用していきますか。

動物を展示している都市公園は近隣市町では珍しいため、今ある施設を有効に活用し、多くの方々から親しみと愛着をもっていただける公園となるようにします。

問 長野県安曇野市では、好気性発酵の促進と施設改善等で、臭気抑制に成果を上げています。成功事例を参考に、対策を行うてはいかがですか。

畜産臭気が住環境や定住促進には、マイナスイメージとなっていると認識しています。

問 畜産臭気は、市民生活に悪影響を及ぼしていると考えますが、いかがですか。

定点観測を定期的に実施し、測定値が基準を超える施設には、適切な対応を求めています。

問 畜産臭気の苦情があまりですが、どのように対処していますか。

畜産臭気は成功事例を取り入れ改善を急げ

小出義一
(志民ネット)



堆肥が円滑に流通すれば畜産の臭気軽減につながります。半田市としても関係機関と調整などの役割を果たしていきます。

問 家畜ふん尿は堆肥として活用できますが、半田周辺は田畑の耕作面積が少ないです。行政として、円滑な耕畜連携の仕組みづくりも、行うべきではありませんか。

半田市酪農組合と相談し、畜産農家と二緒に取組んでもらえるよう進めたいと考えています。

問 得られた知見をどのように活かしていきますか。

三重県いなべ市で、土壌有機物の活用で臭気抑制している事例があり、この事例を参考にしたいと考えています。



田中高久
(創造みらい半田)



様々な背景を抱える子どもの健全育成に向けた環境整備

問 障がいや病気により、学童保育に通うことができない子どもの状況を伺います。

今年度、通うことができなかったケースは把握していませんが、過去に怪我を負わせる恐れがある他害行為を理由に断ったケースがあることを確認しています。

問 障がいや病気を抱える子どもの受入れについて、新たに始めた取組みを伺います。

専門的知識を有する「放課後児童クラブ巡回アドバイザー」による巡回相談を行う等、適切な対応や理解の強化に努めています。



問 障がいや病気を抱える子どもを受入れた際の加算の仕組みの強化が必要だと考えますが見解を伺います。

国の基準に沿って、現行の取組みを継続しつつ、クラブへの聞き取り等を通じて実情を把握し、国や県に要望を行っていきます。

問 事業者が障がいや病気を理由に受入れを拒否した場合の半田市としての対応を伺います。

クラブ側に合理的配慮が見られない場合は適切に指導をしていきます。また、クラブが独断で入所を断ることがないように、相談体制を徹底していきます。



麻生七海
(公明党)



災害への備え

問 本年1月に発生した能登半島地震以降に半田市が備えたことを教えてください。

災害対策の基本である「自助・共助・公助」それぞれの視点での備えを実施しました。

問 政府の防災基本計画の修正中、避難所運営の項目で半田市で行う対応を教えてください。

愛知県の防災計画に修正が反映された上で、各自治体に具体的な修正内容の提示と修正指示が通知される流れになっているため、愛知県からの指示が出た段階で対応していきます。

問 避難所における災害関連死対策をどのように取組めますか。



避難所内に予防法のチラシを掲示し、啓発に努めると共に保健師による保健指導を実施し、避難者の健康維持を図ります。

問 猛暑日における避難所の熱中症対策の考えを伺います。

エアコン等空調設備のある公共施設を中心に避難所の開設に努め、大型ファンによる送風やよまめな水分補給を促します。

問 半田市に気象防災アドバイザー任用の考えはありますか。

台風等の異常気象に対しては、ウエザーニュースや気象台の「地域担当チーム」に様々な気象・地震・津波についての相談や情報収集体制が整備されており、気象防災アドバイザーを任用する考えはありません。



芳金秀展
(創造みらい半田)



第7次半田市総合計画の中間見直し

問 土地利用構想にある新土地需要ゾーンについて、今後どのような展開を予定していますか。

社会経済動向を敏感に捉え、産業用地の需要に対応していくことで、賑わいと活力のある計画的な土地利用を図っていきます。

新たな産業振興策としての道の駅構想の実現

問 新病院や、半田びよログスポーツパークの近隣に道の駅が設置されることは、公共交通やそれぞれの施設に対しても相乗効果があると思いますがいかがですか。

道の駅が設置されることでバス路線の新たな目的地となり、バス利用者の利便性が高まります。加えてそれぞれの施設利用と併せて、買い物や食事をするなど、互いに利用が高まることで集客などの相乗効果が期待できます。

問 産業振興の有力な手段として道の駅を設置するべきだと思いますがいかがですか。

道の駅については、地元農産品や土産品の販売など農業・商業の振興や、観光光クリエーションなどにも寄与し、集客の効果も十分期待できます。一方で、事業の採算性、建設や用地買収にかかる費用、農振法等の規制などクリアすべき課題も多くありますので、調査研究を進め、判断していきます。





坂井美穂
(公明党)



誰でもできる、認知症の方と家族を笑顔にする取組み

問
認知症の方と家族を笑顔にするユマニチュードは、相手に「あなたを大事に思っている」ことを伝えるケア技法で、認知症の方の行動・心理症状の改善や介護者の負担軽減に効果が確認されています。まずは認知症地域支援推進員がユマニチュード認定サポーター講座を受講し、ケア技法を市民へ広く普及してはどうですか。

認知症地域支援推進員は講座を受講しなくてもユマニチュードに限らず、「ミニニケーション」の基礎知識や対応方法は習得しています。ご家族応援プロジェクトを推進する中で、必要な方には認知症地域支援推進員からユマニチュードを紹

介するなど、情報提供の一つとして活用していきます。

高齢難聴者の早期発見と介護・認知症予防への取組み

問
難聴は認知症と誤認されたり、社会的孤立になるリスクがあり、早期発見が必要です。ヒアリングフレイルの概念を市民へ普及啓発し、耳鼻咽喉科への受診を促すため、アプリを活用した語音明瞭度の聴力スクリーニングを実施してはどうですか。

健康相談等でヒアリングフレイルの概念を周知していきます。聴力スクリーニングを実施する考えはありません。



中村和也
(志民ネット)



就労困難者の雇用促進

問
障がい者雇用促進に向けた現状と今後の取組みについての見解を伺います。

ハローワーク等と連携し、既存の制度や支援体制を市民や事業者に広く周知することで、安心して働ける環境を整備します。また、他自治体の取組みを参考に、市役所全体で情報共有を行い、各部署の事業で障がい者雇用促進につながる取組みを強化します。奨励制度については、現時点で独自制度は設けませんが、厚生労働大臣が認定する「もにす認定制度」の周知や他自治体の取組みを参考に、有効性を調査研究します。

問
障がい者の活躍機会創出に向けた支援制度と今後の取組みについて伺います。

福祉サービスを利用して一般就労された方の支援として、就労定着支援事業があります。加えて、今年度から半田市社会福祉協議会が愛知県から受託した「知多地域障害者就業・生活支援センター」があり支援を受けられる体制があります。これらの制度を周知していきます。また、オールブリュット展で、出品者の創作意欲を高め、自立につながる芸術活動を支援する企画を検討していきます。

問
社会的企業であるソーシャルファーム創設支援や認証制度導入についての見解を伺います。

現時点では独自の認証制度等は設けず、愛知県の動向を見ながら、就労困難者の雇用促進に向けた啓発に力を入れます。



竹内功治
(創造みらい半田)



半田市が進めている観光施策の取組み

問
市長施政方針では観光施策が示されていますが、今後どのように取組んでいく考えですか。

量より質、高付加価値、満足度を重視した施策に取組みます。また半田運河エリアのまちづくりにつながる観光振興を取組んでいます。

問
ガストロノミーリズムを推進していますが、どのように取組んでいますか。

著名な発酵デザイナーの小倉氏がプロデュースする「発酵ツーリズム東海」のメイン会場の一つに半田市が選ばれ、来年5月に発酵の魅力発信するイベントを催します。また愛知の発酵文化の魅力発信を目的に行政機関や空港、鉄道会

社が参画して「愛知発酵食文化振興協議会」が設立され、半田市は幹事として中心的な位置づけとなり広域連携も考えながら取組んでいきます。

問
現在のガストロノミーリズムは半田運河エリアが中心ですが、日本酒の醸造所が2社あり酒蔵や串あさりなどの伝統食から新たな飲食店も展開される亀崎地区などと連携を図る必要がありますか。

亀崎地区は伝統や歴史だけでなく古民家等を活かした店や旧酒蔵をリノベーションした飲食施設やイベントなどで集客しており、今後は連携を進めていきます。またガストロノミーリズムの取組みについて、観光客だけでなく市民への周知と利用も図っていきます。





結婚支援については、国が示す少子化対策の1つと認識していますが、新たに、市単独で取組む考えはありません。

問
政府の方針で、異次元の少子化対策が打ち出されました。その一環として、ごども家庭庁が結婚支援を行うことになりました。半田市として、結婚支援について、積極的に取組んでいただきたいと考えます。結婚支援を行う考えはありますか。

結婚（婚活）支援を問う

岩田玲子
(創造みらい半田)



知多地域の市町での広域的な事業主体や方法を協議してまいります。

問
他市町、市民活動団体や、企業等と連携した結婚支援を行う考えはありますか。

結婚支援を必要とする市民への情報提供は必要と考えます。半田市の公式ホームページに、愛知県、近隣自治体、市民活動団体が実施するイベント等、結婚支援に関する各種情報を集約したページを新たに設け、発信していきます。

問
近隣市町では、婚活推進室、結婚支援センターの開設、市民団体や企業が登録し、マッチングをさせています。また、出会いコンシェルジュを活用した支援や、婚活イベントを行い、出会いの場を提供しています。近隣市町の取組みについて、市民への情報提供を行うてはいかがですか。

審議結果 令和6年第7回定例会(8月27日～9月25日)

■全会一致の案件

議案番号等	議案名	()内は議案の補足説明です。
54	令和6年度半田市一般会計補正予算第4号 総務：民有地に設置した防火水槽2基を撤去するための費用を計上するものなど 文教厚生：低所得者支援給付金給付事業費の課税状況が把握できなかった方の申請が想定を上回り、事業費の不足が見込まれるため、増額するものなど 建設産業：発酵食文化や関連文化財建物を活かしたインバウンド向け旅行商品を新たに造成するため、半田市観光協会に対して補助をするものなど	
55	令和6年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第2号 (乙川浜田仮踏切の除却工事において、労務及び資機材の高騰による協定金額の変更に伴い増額するもの)	
56	令和6年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第2号 (過年度の事業費の額が確定し、超過交付となった補助金及び交付金を、国や県へ返還するもの)	
57	令和6年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第1号 (令和5年度の事業費が確定し、超過交付となった負担金等を、国や県へ返還するもの)	
64	半田市創造・連携・実践センター条例の一部改正について (半田市創造・連携・実践センターのオープン日を令和6年10月1日から令和6年11月15日に変更するもの)	
66	防災広場整備工事(週休2日)請負変更契約の締結について (地盤改良工の変更、並びに掘削土の処分によるもの)	
67	半田赤レンガ建物の指定管理者の指定について (令和7年4月1日からの指定管理者を特定非営利活動法人半田市観光協会とするもの)	
68	半田市創造・連携・実践センターの指定管理者の指定の変更について (半田市創造・連携・実践センターの指定管理期間を変更するもの)	
69	令和5年度半田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について (未処分利益剰余金について、自己資本金へ組入れ等するもの)	
70	令和5年度半田市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について (未処分利益剰余金について、自己資本金へ組入れ等するもの)	

71	半田市固定資産評価審査委員会の委員の選任について (半田市固定資産評価委員会委員 白井信之氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を選任するもの)
72	半田市教育委員会教育長の任命について (半田市教育委員会教育長 鈴木慶光氏の任期満了に伴い、後任として榊原雅晃氏を任命するもの)
74	亀崎小学校校舎改築等建築工事(週休2日)請負契約の締結について
75	亀崎小学校校舎改築等電気工事(週休2日)請負契約の締結について
76	亀崎小学校校舎改築等管工事(週休2日)請負契約の締結について
77	亀崎小学校校舎改築等空調工事(週休2日)請負契約の締結について
認定 1	令和5年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和5年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和5年度半田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和5年度半田市モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和5年度半田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定 3	令和5年度半田市水道事業会計決算の認定について
意見書案 1	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について

■その他の案件

議案 番号等	議案名
報告 16	専決処分の報告について(施設管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告 17	令和5年度半田市決算に係る健全化判断比率について
報告 18	令和5年度半田市公営企業決算に係る資金不足比率について
報告 19	令和5年度半田市下水道事業会計継続費の精算報告について
報告 20	知多南部卸売市場株式会社の経営状況について

■賛否の分かれた案件

議案 番号等	議案名 () 内は議案の補足説明です。	創造みらい半田										公明党		志民 ネット		羽田 はんだ		無所属			議決 結果		
		渡邊 昭司	山本 裕介	芳金 秀展	鈴木 英華	田中 嵩久	澤田 幸彦	鈴木 瑞輝	竹内 功治	沢田 清	岩田 玲子	石川 英之	山田 清一	坂井 美穂	麻生 七海	中村 和也	小出 義一	伊藤 正興	國弘 秀之	有留 麻田		新美 保博	加藤 美幸
58	地方独立行政法人知多半島総合医療機構への職員の引継ぎに関する条例の制定について (半田市職員から地方独立行政法人知多半島総合医療機構へ引き継ぐ職員を定めるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
59	地方独立行政法人知多半島総合医療機構に係る地方独立行政法人法に規定する重要な財産を定める協議について (地方独立行政法人知多半島総合医療機構に係る地方独立行政法人法に規定する重要な財産を常滑市と協議の上定めるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
60	地方独立行政法人知多半島総合医療機構の役員等の損害賠償責任の一部免除を定める協議について (地方独立行政法人知多半島総合医療機構の役員等の損害賠償責任の一部免除を常滑市と協議の上定めるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
61	地方独立行政法人知多半島総合医療機構病院事業債管理特別会計設置条例の制定について (長期借入金ができない地方独立行政法人知多半島総合医療機構に代わり、借入れ、貸付、償還等を行う病院事業債の管理特別会計を設置するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
62	地方独立行政法人知多半島総合医療機構設立に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について (地方独立行政法人知多半島総合医療機構設立に伴い、関係条例を整備するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
63	半田市国民健康保険条例の一部改正について (現行のカードタイプの保険証から、マイナンバーカードに保険情報をひもづけしたマイナ保険証に切り替わることに伴い、条例の一部を改正するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
65	愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更について (現行の保険証が令和6年12月2日から発行されなくなることに伴い、規約の一部を変更するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
73	半田市教育委員会の委員の任命について (教育委員会委員の新美大氏、桂優子氏の任期満了に伴い、引き続き両氏を任命するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	同意
認定 1	令和5年度半田市一般会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	認定
認定 1	令和5年度半田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	認定
認定 1	令和5年度半田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	認定
認定 2	令和5年度半田市立半田病院事業会計決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	認定
認定 4	令和5年度半田市下水道事業会計決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	認定

表の見方: 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員



病院の独法化は、採算性を重視した経営により、患者や職員の待遇に影響を及ぼす恐れがあるため反対です。議案63・65号は、マイナ保険証に対する国民の不信感があることや、資格確認書の発行により、医療現場等の混乱を招くことから、反対です。議案73号は、時の市長が教育委員の在任期間を左右できることに反対です。

有留麻田議員

議案第58号・59号・60号・61号・62号・63号・65号・73号に反対

反対討論

決算認定案の審査より

9月定例会では昨年度の予算が適正に執行されたか、その過程や結果について議会がチェックをする決算認定案の審査を行い、いずれも認定されました。委員会ではどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

公用車車両広告収入

問 1台あたり月額2千円から3千円に設定した根拠は何ですか。

答 同様な事業を実施している他市を参考にしました。

シテイプロモーション推進事業

問 当事業は定住人口を増やすことを目的に実施しているとの認識していますが、39歳以下の「これから住み続けたいと答えた市民の割合」を成果指標として設定したことについて、指標を変更する議論はありましたか。

答 当事業の最終的な目的は、定住人口の獲得であるため、特に若い世代に絞ってこの指標を設定しましたが、都市イメージの向上と愛着の醸成という2点を目標にプロモーションを推進することで、定住人口を獲得していくものと考えていますので、今後は他の指標も検討していきます。

DX推進事業

問 スマホよろず相談会について実施状況はどのようですか。

答 令和5年度は454人に参加いただきました。毎週火曜日に1人あたり30分として実施し、予約時点で約8割の枠が埋まっていることから、今後も継続して実施していきたいと考えています。

市立半田病院

問 看護師の有給休暇取得数や残業時間の部署によるバラツキの対策をどのように行いましたか。

答 有給休暇取得数は大きなバラツキが生じないように、部署ごとに目標値を設定するとともに全部署の目標値を確認できるように仕組みを設け、できるだけ均一に取得するように努めました。また、部署によってバラツキが生じている残業時間数については、解消策として、全部署で毎日15時にどの業務がどれくらいの量が残っているかを確認し、残っている業務を他部署からの応援により対応するという仕組みを構築し改善を始めているところです。



総務委員会 決算審査の様子

文教厚生委員会

民間保育所運営事業

問 令和5年10月1日現在の待機児童数が27名発生しているが、どの年齢で待機児童が発生しましたか。また、待機児童に対する対応はどのようですか。

答 0歳児が23名、1歳児が4名です。対応については、待機順を管理するための名簿を作成し、退園する園児が発生するなど、園に受入れできる余裕が生まれた際に、待機順に連絡をしていましたが、全ての待機児童の解消には至りませんでした。

ファミリーサポート利用促進事業

問 令和5年度に事故やトラブルはありましたか。

答 事故はありませんが、援助会員と依頼会員との当事者間でのトラブルは把握しています。対応としては、両者の声を聞きながら、改善できるところは改善し、改善できない場合は、別の組み合わせにすることで対応しました。

小学校水泳授業指導補助委託事業

問 指導を外部に委託している花園小学校の水泳の授業時間数と、他校の水泳授業時間数に差は生じましたか。

答 カリキュラム上の時間数は同じですが、学校のプールで行う場合は、気温や天候等で実施の可否が左右されるため、中止となった授業があった学校とは授業時間数に差が生じました。

亀崎小学校改築等事業、及び成岩公民館改築等事業

問 老朽化した建物の建替えにあたり、もう少し地域の方と意見のすり合わせを行っていた良かったと感じますが、どのように考えていますか。

答 これまで、行政の提案は、ある程度形になった状態で、市民の皆様にお示してきましたが、市民の皆様から意見を徴収する際には、もっと工夫する必要があったと感じています。今後は、皆様の声をより反映することができるよう検討していきます。

国民健康保険事業

問 出産一時金の予算執行率が低い要因をどのように分析していますか。

答 予算は、過去3年間の出生状況の推移や国の少子化対策等を考慮し積算しましたが、出生数が思ったほど増えなかったことに加え、国民健康保険の加入者自体の減少も、執行率が低くなった要因であると分析しています。



文教厚生委員会 決算審査の様子

建設産業委員会

民間人材活用事業（6次産業化）

問 「農業マルシェ」や「〇〇と語り合う会」を実施したことを、どのように評価していますか。

答 このプロジェクトを通じて、農業者間のつながりができ、農家が自身の経営について考え、自主的に他市町で開催するイベントに参加し、自らの商品を売り込むといった変化が起っており、スタート年度としては、よいスタートが切れた、と評価しています。

産業振興会議事業

問 アンケート調査や勉強会を実施したとあるが、どのように評価していますか。

答 産業振興会議からの意見を受け、担い手確保を目的としたオープンファクトリーや柔軟な思考を持った経営者の育成を目的とした勉強会を実施し、課題解決に向けた展開がスタートできたと評価しています。

中心市街地活性化事業

問 令和5年度の進捗状況を、どのように評価していますか。

答 実現したいまちの姿を目に見える形として「コンセプトブック」を作成できたこと、また、ワークショップを通じて、参加者が市内で自発的に活動を始めるといった変化に繋がった、と評価しています。

公共交通対策事業

問 バス路線にかかるコストが生じていることについて、どのような検討がなされましたか。

答 利用者数を増やすことを目的に、瑞穂線については、路線の見直しを行いました。亀崎・有脇線については、路線の改善に限定せず、地域の実情に沿った新たなデマンド交通の導入なども視野に入れた検討を進めました。

水道事業

問 配水管の耐震化および老朽管の更新・再構築について、具体的にどのような取り組みを行いましたか。

答 配水管の耐震化については、基幹管路の耐震化を最優先に実施するとともに、避難所等をはじめとした市内53箇所の重要給水施設について、配水管の耐震化を完了することができました。また、老朽化が進んでいる配水管について、旧土地区画整理区域の配水管から、計画的に更新工事を実施し、漏水リスクの低減を図りました。



建設産業委員会 決算審査の様子

決算認定に係る討論

認定第1号・2号・4号に反対
有留麻由議員

幸せになるための教育の推進、滞納者の暮らしの悩みに寄り添う事のない滞納整理機構への加入、市民の不安がある中のマイナンバーカードの普及促進の事業、市が責任を持つべきである保育園の民営化や病院の独法化、物価高騰の中の国民健康保険税や下水道の料金の値上げなどを含む、この3件の決算議案は賛成できません。

令和
6年度

各特別委員会の 年間調査テーマ

半田市議会では、市の課題の解決に向けて、課題を調査するための特別委員会を立ち上げ、調査・研究を1年間行い、市に対して提言をしています。今年度の委員会と調査目的については以下のとおりです。

歴史・文化を活用 したまちづくり 調査特別委員会

半田市の先人達は、私たちにたくさん歴史と文化を遺してくれました。調査が不十分なものもありますが、すべて私たち市民の財産です。

この財産は、故郷への愛や誇りを引出す力を秘めています。半田市議会は、この可能性を引出し、まちづくりに活かすために「歴史・文化を活用したまちづくり調査特別委員会」を設置しました。既に先進事例の研究を始めています。

文化庁においても、同様の趣旨で、「文化財保存活用地域計画」の策定を推進しています。既に全国で669自治体が計画をつくり、文化庁から認証を受けています。愛知県下でも7自治体の取組みがあります。この地域計画の策定事例も参考にしながら、まちの魅力づくりを見直していきたいと考えています。

先進事例研究は、文化財保存活用地域計画の目的設定の考え方、歴史・文化の活用事

例、関係部署との連携の仕組みなどを学ばせていただきましたと考えています。

これらの先進事例の中には、総合計画など他の計画とのリンクや組織的連携を重視しているもの、民間や大学との共同研究事例など主要施策として捉えているものもあり、大いに参考にさせていただきます。

また、事例の中には、市民参画や次世代への継承を重視しているケースもたくさんあります。それぞれの計画に携わっている方々の熱意を学び、半田市に役立つ提言に繋がっていきます。



公共空間 の有効活用 調査特別委員会

名鉄知多半田駅周辺は、知多半島の中核都市の中心として日常的に賑わっています。しかし、人口減少や車中心の生活等により都市機能が低下したため、平成2年度から27年度にかけて区画整理事業を行い、併せて民間のクラシティがオープンしました。しかし、現在のところ賑わいが戻ってきている状況にはありません。実際に名鉄知多半田駅東側から泉線沿線、JR半田駅周辺にかけて、公共空間、空き店舗、低未利用地など、まちづくりを進めるうえで貴重な資源が蓄積されていますが、有効活用されていない現状があると考えます。

令和5年度に半田市が行ったワークショップでは、中心市街地に人と交流が出来る場、休憩できる居場所、食べ歩きやアクティビティといった「静」と「動」の両方が叶う空間を求める声が多くあり、特に知多半田駅前東ロータリーにおいては、交通機関だ

けでなく、こうした人々の活動を支える広場機能や、JR半田駅に繋がる動線としての賑わいづくりなどが期待されています。

令和5年度に半田市中心市街地活性化推進方針が策定され、今後は知多半田駅前東ロータリーのリニューアルが計画されているなど、中心市街地の活性化に向けて新たに動き出しています。そこで当委員会では、公共空間の有効活用に民間の活力を活かした官民連携による取組みも考えながら、人々が集まる賑やかな中心市街地になるよう、居心地のよい公共空間について調査研究を行います。



全議員22名が学び情報を共有

今後の議員活動、議会活動に活かす!

議員勉強会を行いました

開催日 9月5日(木)

場所 市役所5階 全員協議会室

テーマ

大規模災害時の 情報伝達手段について

- [1] 半田市の現状について
- [2] 能登半島地震におけるNTTドコモの取組
- [3] 能登半島地震対応の経験等に基づく
災害時の通信確保に向けた検討
- [4] 公共安全モバイルシステムデモン
ストラクション



今回の勉強会は、能登半島地震で得た教訓を踏まえ、半田市でも発生が懸念される大地震に備えるために開催しました。総務省担当官と(株)NTTドコモ災害対策室の講師を招き、通信網復旧や多様な情報伝達手段の重要性について学びました。講師からは、震災後の具体的な通信復旧例や新技術が紹介され、地域防災には通信インフラ強化が不可欠であることが強調されました。今後はこの知見を基に、情報伝達手段の構築に活かしていきます。

学びのポイント

- ・今後、非地上系ネットワーク技術の発展と実用化が進み、多層的な通信技術を確保できる時代になる。
- ・一般携帯電話網から独立したデータ通信専用の基幹網を備えた公共安全モバイルシステムは、平時は携帯電話として使用でき、災害時には、関係機関との連絡、映像伝送、情報共有等に活用できる。

今後の本会議の開催予定

12月定例会の日程

12月10日(火)～20日(金)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します。



議会本会議
の予定へ

あ と が き

季節もすっかり秋らしくなりました。紅葉や季節の食材などを楽しみにおでかけしたくなりますね。半田市内でもシティマラソンや、産業まつりなど各所で多くのイベントがあります。さて、半田市議会でも、あと1カ月もすると12月議会が始まります。市議会ってどんなところだろう…と肌で感じるためにもぜひ傍聴席へおでかけしてみてください。非日常的なところ?難しい話をするところ?いいえ。私たちの暮らしそのものを話すところです。(有留)

議会広報誌編集委員会

委員長 竹内 功治
副委員長 伊藤 正興
委員 有留 麻由/田中 嵩久
坂井 美穂/榊原 瑞輝
岩田 玲子

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
TEL 0569-84-0694
FAX 0569-24-7185
E-mail : giji@city.handa.lg.jp



半田市議会へ
QRコードは株式会社
デンソーの登録商標です。